ティーチング・ポートフォリオ（教育業績ファイル）

教員氏名	小山　久美

主な担当科目	バレエ・クラスⅡ②,バレエクラス①,バレエクラス②,バレエクラスⅠ①,バレエクラスⅠ②,バレエ演習Ⅰ②,バレエ演習Ⅴ②,バレエ実践演習Ⅰ①,バレエ実践演習Ⅰ②,バレエ実践演習Ⅱ①,バレエ実践演習Ⅱ②,公演実習②,卒業公演実習①,舞台実習,舞台実習Ⅰ,舞台実習Ⅱ

2025年の教育目標・授業に臨む姿勢	学生一人一人と信頼関係を築きながら自らの気づきを得られるようサポートし、主体的な学びにつなげていく。考える力や理解力を深め、技術や表現力の向上を目指しつつ、自己管理力や協調性など幅広い成長を促していく。
2025年の教育に関する自己評価	全ての授業が学年全体によるグループ授業であるが、そのなかで学生一人ひとりに声がけをし、各自がそれぞれの課題に向き合い取り組めるような指導に努めた。1年間を通して専門的な実演能力の向上と成長につながったと思う。

2025年のFD活動に関する自己評価	社会の変化に応じた視点を確認し、大学教育を見つめなおす機会となっている。大学全体の方針を理解し、専門分野の異なる教員らとの対話などから学ぶ点が多い。
授業改善のために取り入れた研修内容	研修時に紹介される、留学生を含めた学生たちの環境や背景の変化などは大変参考になっている。

2025 年度（春学期）「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：1572　教員名：小山　久美

1）アンケート結果に対する所見

全体を通して、学生たちは概ね満足している結果がみられたことから、指導側と学生の意思の疎通は図られていると思う。バレエ実技の授業は、ダンサーが日常的に取り組むルーティンのレッスンであるため、変化をつけにくいという実情があるが、そのなかでも学生たちの興味を保ち、熱意を引き出し続けられるよう努めてきたつもりである。常に授業は、クラス全体に向けて行われるが、各学生がそれぞれのレベルで技術を修得し成長できるよう、そしてそれを学生本人が自覚できるような指導をしていきたいと思う。

2）要望への対応・改善方策

要望は特にみられなかった。

3）今後の課題

バレエ実技では特に出席することが絶対条件だと考える。欠席分を取り戻すことはできないので、まずは出席することを第一に考え、そのために体調などを整えることが必要であることを、あらためてしっかりと伝えたい。ダンサーはもちろん、社会人としても基本の姿勢であり、信頼される人間関係を築き上げるうえでも重要である点を指導したいと思う。

また学生たちにとって、在学中に将来の夢や進路方針が変更されることは十分に起こりうるため、一人ひとりに寄り添った配慮を心掛けながら的確に導いていきたいと思う。

以　上

2025 年度（秋学期）「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：1572　教員名：小山　久美

1）アンケート結果に対する所見

バレエコースの実技系授業に関して満足度が高い結果が得られたのは、学生の目指す方向性や学修意欲が比較的共通しており、授業内容と学生のニーズが一致しているからだと考える。そのため、授業の進行や指導方針も明確に設定できている。一方で、音楽教養コースのように、学生の進路や目標が多岐にわたるコースでは、多様なニーズに対応する必要があり、授業内容の焦点をどこに置くかについて難しさを感じる。今後も学生の多様な学修目的を踏まえながら、より効果的な授業内容の検討を進めていきたい。

2）要望への対応・改善方策

改善方策としては、学生の目標や習熟度を引き続き把握しながら、授業内容と関連性を明確に示し、学修意欲の維持・向上につなげていく。特に、多様な進路を目指す学生が受講する授業においては、基礎となる内容を共通して扱いつつ、それぞれの関心や将来の方向性に応じて学びを深められるよう、授業内容や課題設定を工夫していきたい。

3）今後の課題

今後一層、学生の進路や目標の多様化への対応が必要になることが考えられる。授業の焦点を明確に保ちながら学修効果を高められるよう、学生の状況把握に努め、授業内容や指導方法のさらなる工夫を進めていきたい。

以　上